

柏崎周辺地区(完了) 後谷ダム草刈り作戦

令和8年5月24日(日)、31日(日)のいずれも午前8時00分～新潟県柏崎市西山町別山で行われた後谷ダムの地元・後谷集落主催の「後谷ダム草刈り作戦」にのべ18人(うち会員は4人)が参加しました。

後谷ダムは、小生が柏崎事業所に勤務していた平成20年に試験湛水を行っておりました。盛り立てから2年を経過し、当時の堤体法面は葦や萱が背丈よりも高く繁茂しておりダム委員会を控え勤務の合間を見ながら体力任せに30ccのエンジンを備えたロビン社製の草刈り機で必死の思いで刈り始めたのが、後谷ダム最初の草刈りかと記憶しております。当時は、種子ネットが葦や萱で盛り上がり草刈り機の刃に絡まり、また2段切りをするところを体力任せで1発切りをしていたので難儀したものでした。

今は、毎年の草刈りで葦が生えているところはほとんどありませんが、萱は今でも隙あらばと繁茂を狙っているようです。葦に代わり最近ではセイタカアワダチソウが目立っております。セイタカアワダチソウはご存じのとおり放置しておくのが高くなり幹も硬くなることから、放置してからの草刈りは、葦同様難儀することになりますし、根が張る分年々強力になります。若いうちに早々に除去するのが、結果的に繁茂を押さえ刈りやすくなります。

あれから、20年余りが経過し、懐かしさとともに毎年参加しておりますが、今年は前日が最高気温30℃を超える猛暑日となった日であり、当日もあいにくの晴天模様、「これは死ぬな！」と覚悟を決めたところ、前週の活動に参加したI氏の活躍もあって、ほぼ半分以上が完了しており、若手のK氏や草刈りを極めたOB会員のK氏も参加し、集落民と合わせ総勢10名での活動となった。

案の定予定より作業が進んだが、その分これまで刈ったことのないところまで刈り始める始末となった。木っ端役人の経験から、昨年以上に草刈りをすると前例となり翌年度以降の作業にも影響することから、刈り控えるように諭した。

一方、管理を任されている後谷集落も高齢化が進み、また、以前は参加していた集落民もぼつぼつと鬼籍に入ったり病気になったりと顔が見られなくなっている。このままでは、限界を超えてしまうことは必至であり将来に課題を残すことが歴然としている。震災後の人口減少と超高齢化が進む奥能登地域にあって群を抜いている上黒丸地区では、ラジコン草刈り機械の導入や広範なボランティアの支援を受けている。

